

DIME ALLIANCE

ダイム・アライアンス



Adults only

成年向け

はあ…

はあ…

DIME ALLIANCE

はあ

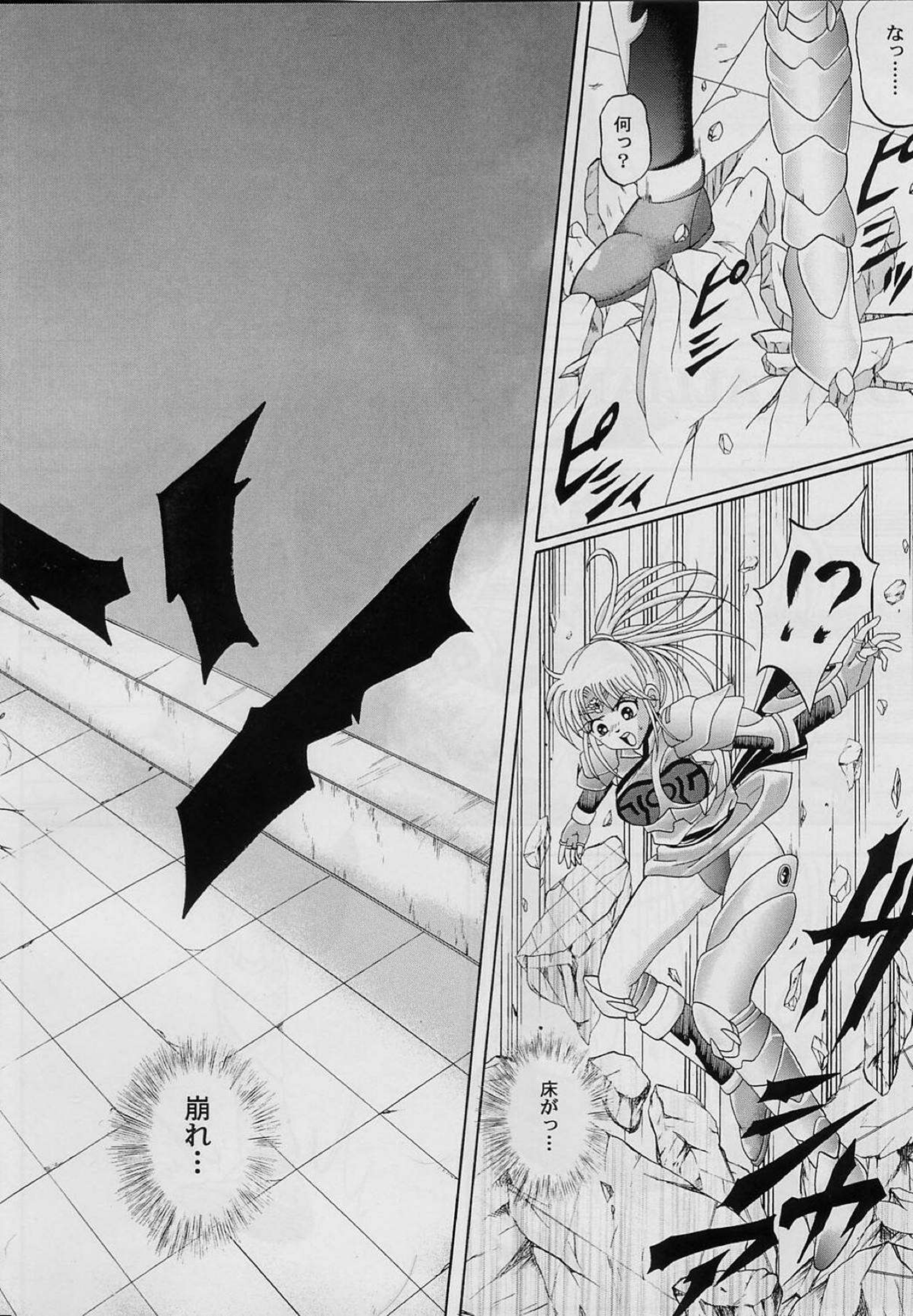
はあ

パインパレスの
通路は二本道？

このまま進めば
通路が交わる

…っ





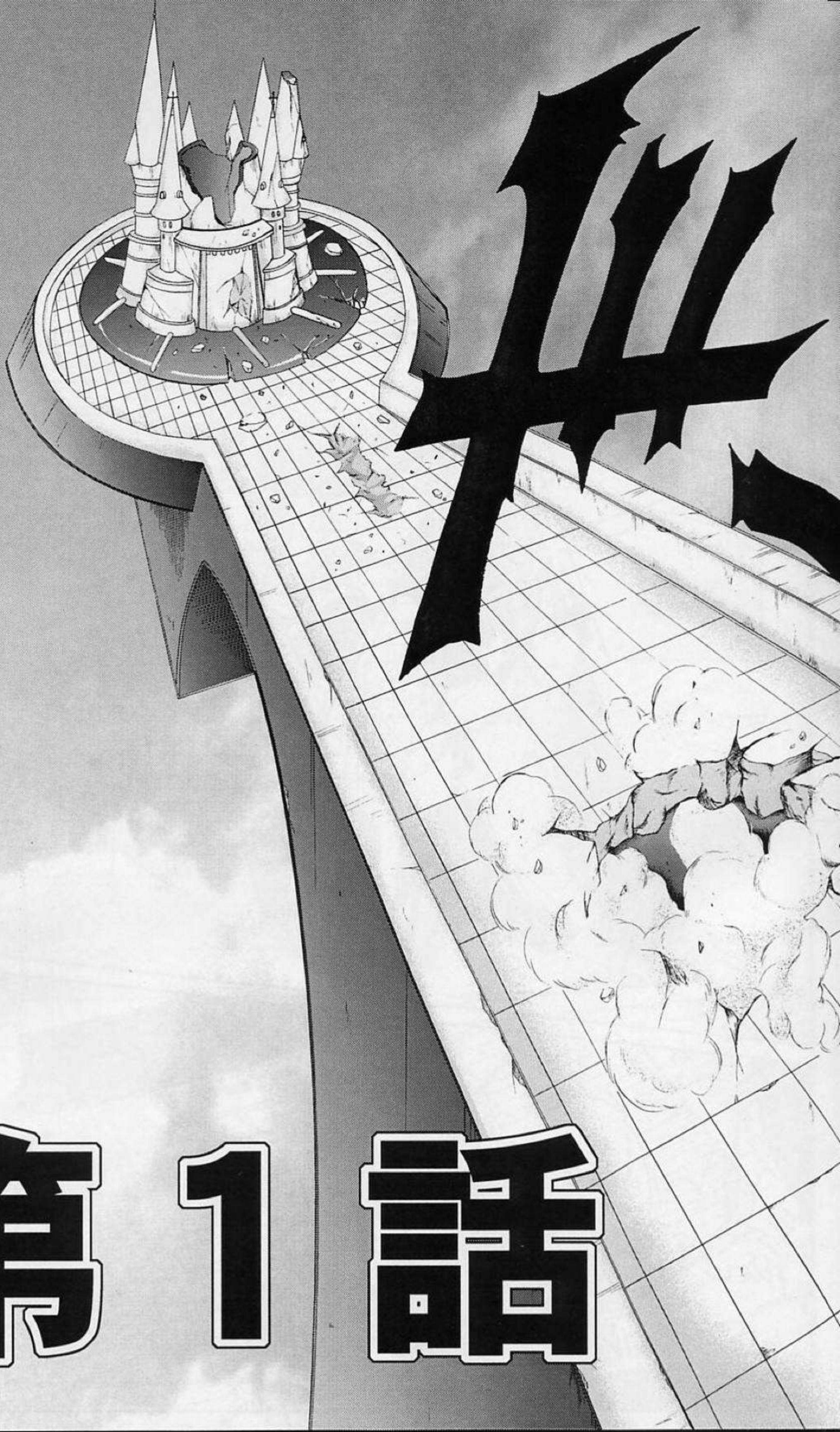
なっ……

何っ?

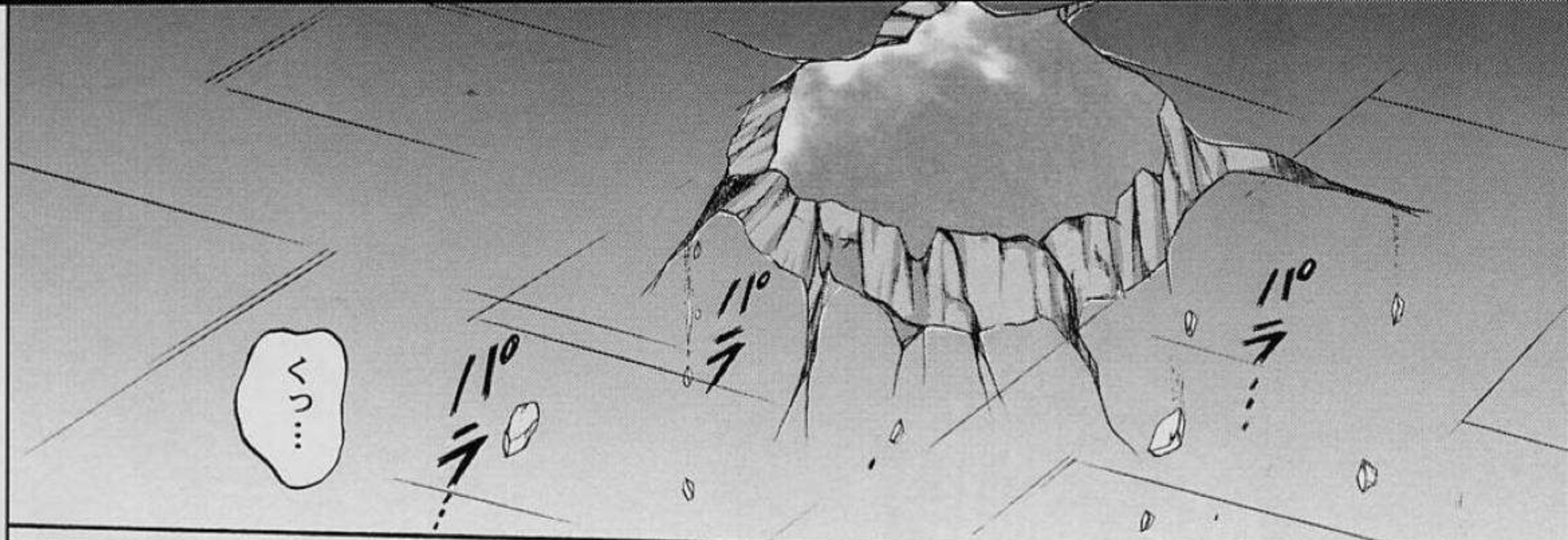
!?

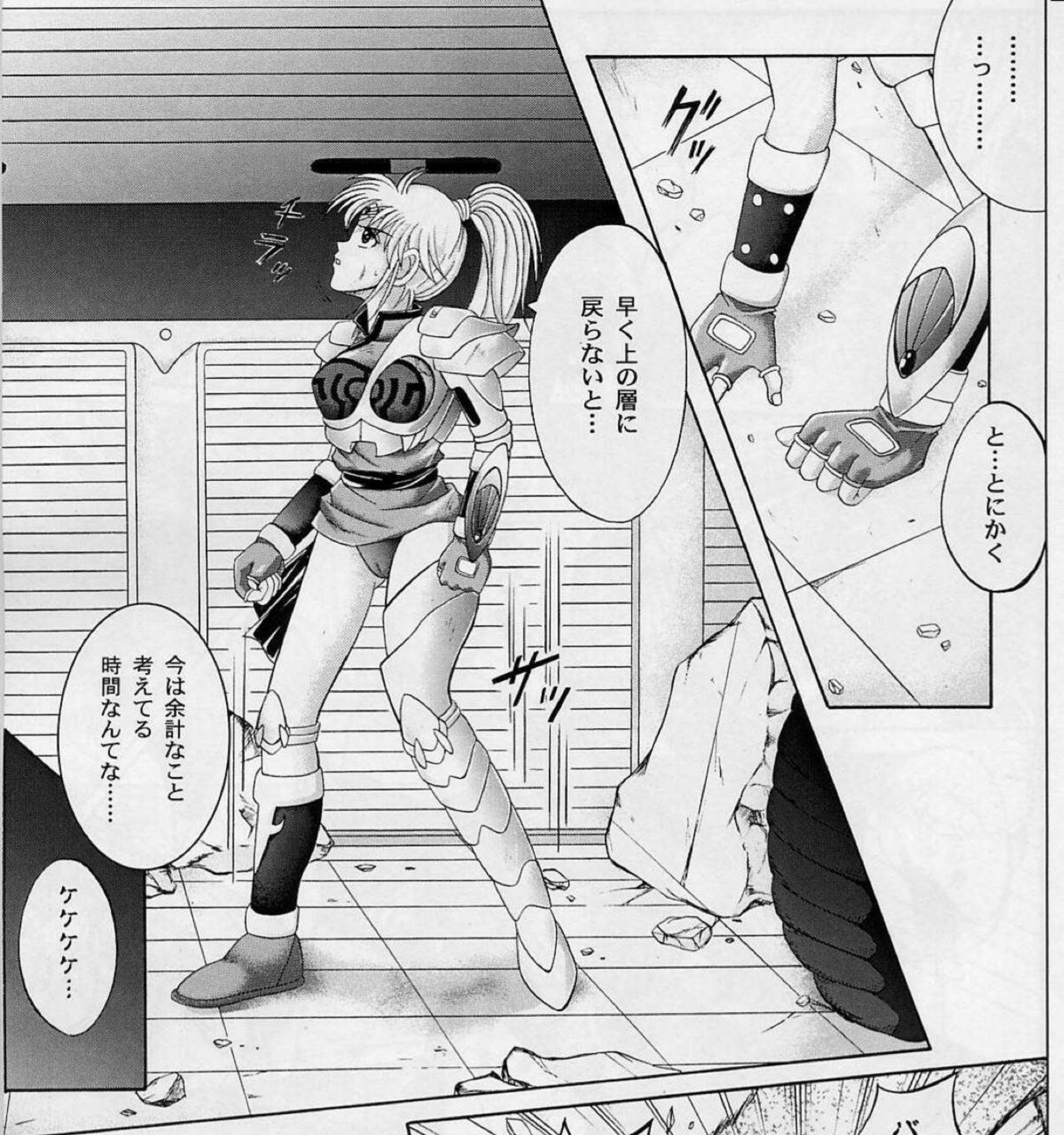
崩れ……

床がっ……



第 1 話





……
……
……

と……とにかく

早く上の層に
戻らないと……

ザッ

今は余計なこと
考えてる
時間なんてな……

ケケケケ……



バカめ!

上を仰ぐ前に
背後に気を
使ったらどうだ?

!?

ク
イ

かつ…

しまった!

モンスターが
……っ!?

ケケケ…

ああっ!?

これで
お前は

俺の
ものオ





コイツ……
もしかして私を
待ち伏せていたの？

すごい力……



ぐっ……

かつ……あ……



フフフ……
ようこそ大魔宮の
隠し部屋へ



こらこらあ
ダメじゃないか

ようやく役者が
揃ったんだから
もっと紳士的にいこうよ

あなたは…



キリッ

キルバーン
死神
!!?

はあい

まっ…床が
崩れるように細工した
だけだからあんなの
畏こわとは言えないけどね

そう
あれもボクの
仕事さ

じゃあ…さつき
床が崩れたのは…

……

フフフ…
これはある意味で
功績だよキミ

??

このボクに
あんなチャチな
仕事をさせたんだから

あつと…失礼…
話しが少し
見えにくいかな

いやはや…順を追って
話すとだね

勇者くんや魔法使いの
ボウヤには納得の罾を
用意できたんだけど

とりあえず今回は
いつもの
完璧主義を捨てて

それに対して
いまいちキミに向いた
カードが見当たらず
なくなってるね

そこで
考えたのさ

あつ…

ケケ…

魔界にいるボクの
友達にでもひとつつ任せて
みようかなってね



しばらくしたら
また見にくるから

それまで彼に
たっぷり可愛がって
もらいたまえ



ボクが考えた中で
一番キミに
お似合いの結末…



まっ…

待ちなさ…っ

おっ…っ



お前の相手は
俺だって
言われたろお？



コラコラ
コラコラあ…



そんなに言うなら相手になるわよ...

いいわ...

こんなところで足止めくらうなんて

っ...

冗談じゃない...



ああああ—

っ!!!



!?

!!!

ほお...
まあそこそこの力じゃないか

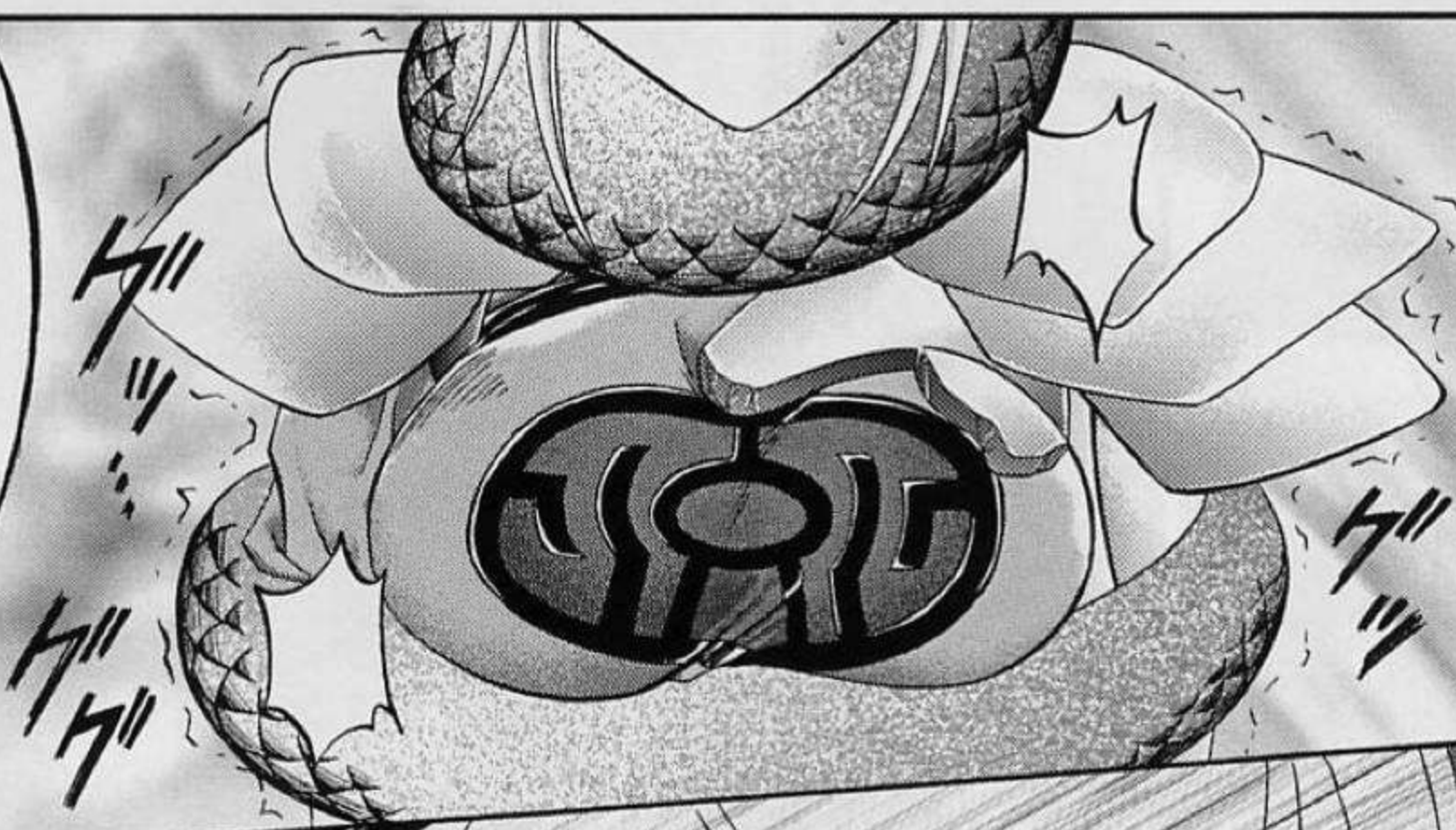
ぐっ...
.....

.....

んて？
どうなんだ？

まさかお前…

たかがこれぐらいの
力で俺の締め付け
から抜け出せるとも
思ってたのか？



!?

効いて…
…ない……？



ククク…
残念だったなあ

並のモンスター
相手ならそれで
通じたんだろうが…

生憎
俺は…



あつ…

並じゃない

んはっ！



いいかあ？
力を込めるって
のはなあ…

あ…

ああっ!!

うああああ

っっ!!?

これぐらいの
ことを
言うんだよ!





見たところ
この鎧も中々の
防御力のようだ

ケケケケ
どうだ？
苦いから？

かつ…

あ……あ……

俺にとっちゃ
多少硬いって程度だ



まあ
しかし…

う……

あの締め付けくらって
生きているとは
さすが勇者の仲間だな



く……

確かに
キルの
言う通りだ

お前のような奴に
「お似合いの結末」
ってやつを
与えられるのは
俺に違いはない

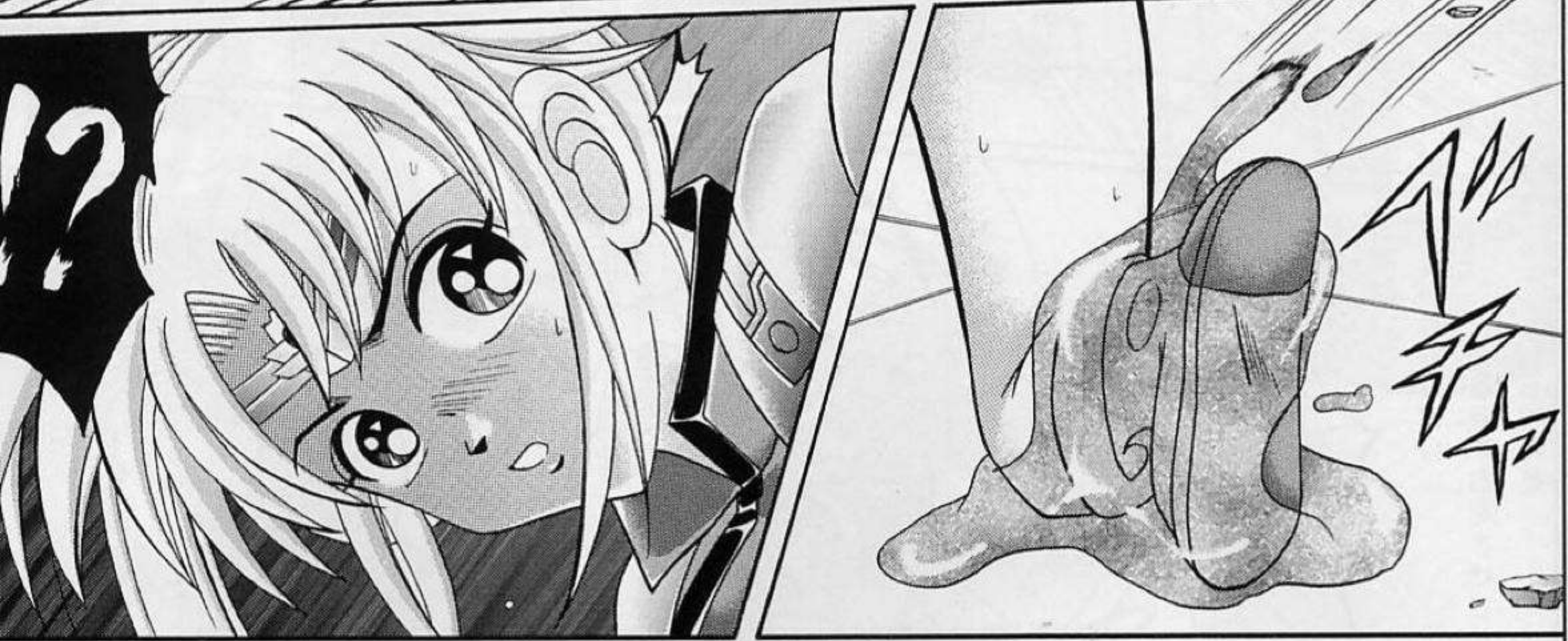
何…なのよ……
その…
結末って……

ケケケケ……

スウウウ

それについては
今から丁寧に
説明してやるよ

く……



なっ…

何をっ

何する
つもりなのっ!?

おと…

おと

クク…

そのまま
股を開いてて
欲しかったんでね
粘着液で固定させて
もらったぞ



ぐっ...
ぐっ...

と...
取れないっ

こんな事して

一体...何を...

シュル

シュル

察しが悪いな
オマエは...

だがそれも
また結構

俺の経験から
らくと

.....
っ

こういう女ほど
良い反応を見せて
くれるからな



なに...を

ちよこ...



いちゃあーっ!!

...じ...じ...さー...



だ...だ...め...っ

な...何で...

ガルッ

そんな...とこ...

ククク... 良い融り心地だ



おいおい…
ここに用がある
ってったら

交尾する以外に
ほか何がある？

なっ…

ケケケ…

テメエの性器に
産卵管ぶちこんで
よおお

子宮ん中に
びっしーり卵を
植えつけてやるのさ



!?

た…ま…
…っ…っ…?



そんな…

うそでしょ…

クフ…

その脅えた表情…
いいねえ…

だがまあ
安心しろ

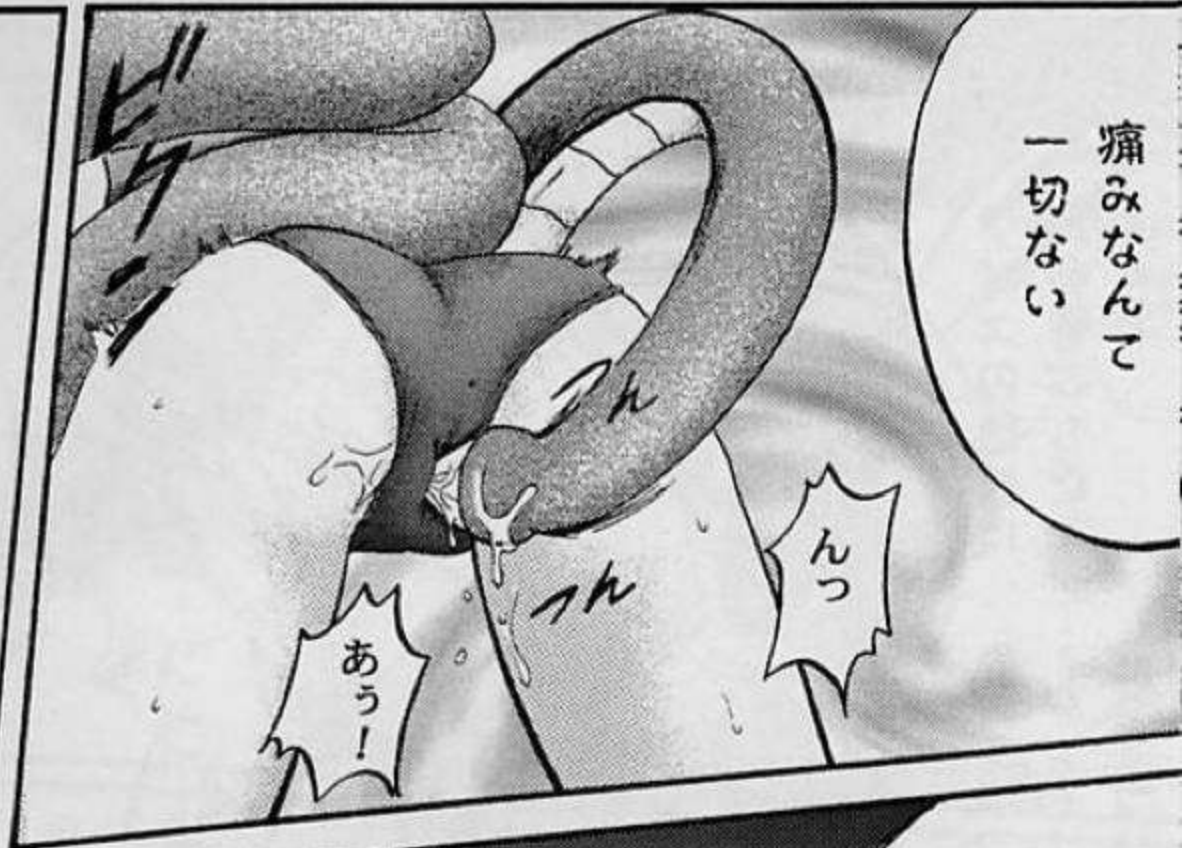
産卵といっても
俺のは生殖から
かけはなれた代物だ

痛みなんて
一切ない

んっ

ん

あう!



ふ……ふ……ふ……
ふ……ふ……ふ……

ケケ……

俺の卵はなあ……
植えつけた相手から
闘いの遺伝子を奪ってくる
特殊なアイテムのようなもんなのよ

しばらく
アしを寄生させて
おけば

あ……あ……

そいつの身体の中に
秘められた優秀な
遺伝子を
卵が自動収集……

事が済んだ後は
俺の身体に
もう一度戻し……

ん……ああ……

するとアラ不思議
奪った能力は
全て俺のモノ!
レベルアップってわけだ

そんな……

ダメツ……

ぐっ……



このまま
だと…

んっ

……ぐー！

んああ——っ!?

コイツにっ

ケケケ…
まあそう
嫌がるなよ

俺の産卵は
人間の女なんか
一生味わえないほど
気持ちいいんだぜえ

ムクナアガキ
なんかせずに
ジツとしてりや
可愛がってやるよ

ふ、ふざけ
ないで！

誰がモンスター
なんかにつ！

モンスター
なんかだとおおお

ハッ…
笑わせるな！

そのモンスター相手に
ここ濡らしてんのは
誰なんだよ？

あっ！

ああ？
コラッ…

はっ…あ

この音…
もちろん聞こえて
るよなあ？

グチユグチユ
グチユグチユと…
このいやらしい
音がよお！

んっ…
…あ…

う…う…

マンコからパンパン
メスの臭い曲しまくって
いっぱしのプレイド
持ってんじゃねえよホケが

気持ちよすぎるから
こっからこんな汁
垂らしてんだろあ？

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



たっぷり
植えつけてやる

なっ…

いっ…
イヤッ!!

お願いっ!
お願いだからっ!



クク…

オマエみたいなの
強がる変態女にや
俺の産卵は
もってこいだ



喜べえ…

今日は
いつもより
念入りに



やめて!

にゅるー

クク



そう
恐れるな...

痛みはないと
言ったろ?

あつ...
か...ああ

チュッ



管の表皮には
身体を火照らせる
油がたっぷり
滲んでいる

ん...あ...

すぐに
刺激が欲しいと
全身疼いてくるさ

スル
スル



ま、むしろ気持ち
よすぎて気が狂わない
よう気をつけるよ...

んあ...

あ...あ...

んぐっ!!

ぬぐあ!?



いやあ……!

たっ…
卵が……

ポッ

ポッ

あっ!

ケケケケー
どんどん
送るぞおお

いやああ——
っ!!

入ってる……

あああ——
っ!!

ダメえつええ——
っっ!!!

ポッ

ポッ

ポッ

ポッ

ポッ

モンスターの卵が
私の身体につ……



アソコを押し広げて
入ってくる感じが
また堪らねえだろお

そんなこと…
ない……

ケケケ…

気持ちいいかあ？

こんな…の……
気持ち……
悪い……だけ……



うそつけ
コラッ

管を伝って
感じ取れるぜえ

オマエの身体が
ピクピク反応して
おねたりして
んのがよ

フン……

素直じゃない
やった

それならこっちの
穴にもくれてやるよ

こんなの……
……いやっ……

ちが……うっ……

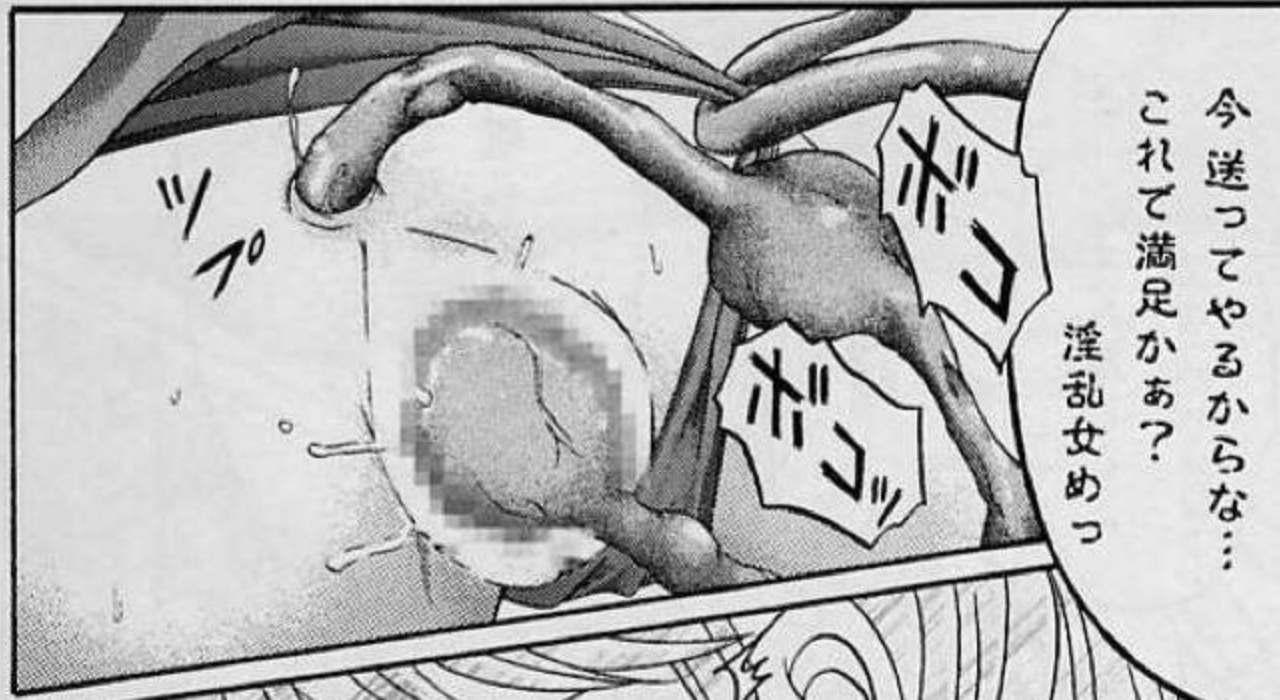
ひっ！

ピキ

グワッ

グワッ

グワッ



今送ってやるからな…
これで満足かあ？
淫乱女めっ



なっ…!!

まさか
そっち…



あっ……

かっ……

んっ……ああ
っ!!!



い……い
……せ……

ダメッ！
……あつっ！！

イツ……

んああっ——

っ！！



ケケケ……
入ってく入ってく

あ……っ

あ……あ……

さすがのオマエも
両穴一気に突っ込まれたら
素直な目つきに
なりやがったな

だが…

楽しい時間ってのは
どうそう長く
続かないものだ

あ……

ああ……

さっきの話の
続きになるが

まさか忘れちゃ
いないよなあ？
この卵の働きを……

卵の活動はかなりの負担を
宿主に強いるんでね…
オマエはその反動でしばらくの間
気を失うことになるだろう

今に意識がもうろろと
してきて俺の言葉も
耳に届かなくなる

んは…
あ…

ん…っ

ただ…とりあえず
これだけは覚えておけ

目が覚めたとき
オマエの身体にはもう
闘いの遺伝子は
残っちゃいない…

気絶してる間に
卵は一つ残らず
回収させてもらうからな

そん…な…

プルッ
プルッ

プルッ
プルッ

プルッ
プルッ

ホッ
ホッ

ケケケ… 格闘の才能
そのものが無くなる
ってんだからホントに
同情するぜ

しべルーに退化した拳句
二度と成長できない身体に
なっちゃうんだからよお

いいかあ
今後はスライム相手でも
気を緩めんなよおー

何せしべルーだからな

そ…
…ん…な

カチ
カチ

カチ
カチ



いぢぢぢ

!!

ケケケケ...

ん...

うう...





行 行 行 行 行

行 行 行 行 行

第2話へつづく

第2話

おお…





...ん?
なんだ

...っ!
!?

目え覚まし
やがったのか



放しなさいっ!!?

なっ...

手をっ





んっ…んっ…



わたし…



う…そ…

じゃあ…あの
モンスター
の
言
っ
て
た
通
り



この大魔宮に
のりこんでくるほどの
強者とはいえ

…つく

く…

へ…

アイツの卵で
全て抜き取られち
まったんなら

ちーども
怖かえ

がはあ…
……ツツ!!!

あつ…

かつ…

死なない程度に
手加減して
やったぞ…

ククク…

あつ…か…あ

んあつ…

ギ



なにせ今のお前は
何の能力もない
ただの人間…

俺様が本気を出せば
ころっと死んじまう身だ

あ…

ゴク

ゴク

ゴク



力だけ
じゃなくっ…

素早さも

防御も

全てが
カスレベルツ

あああ

っ!!!

かほ

そこら辺を
気遣うようにと
ご命令された

サッ



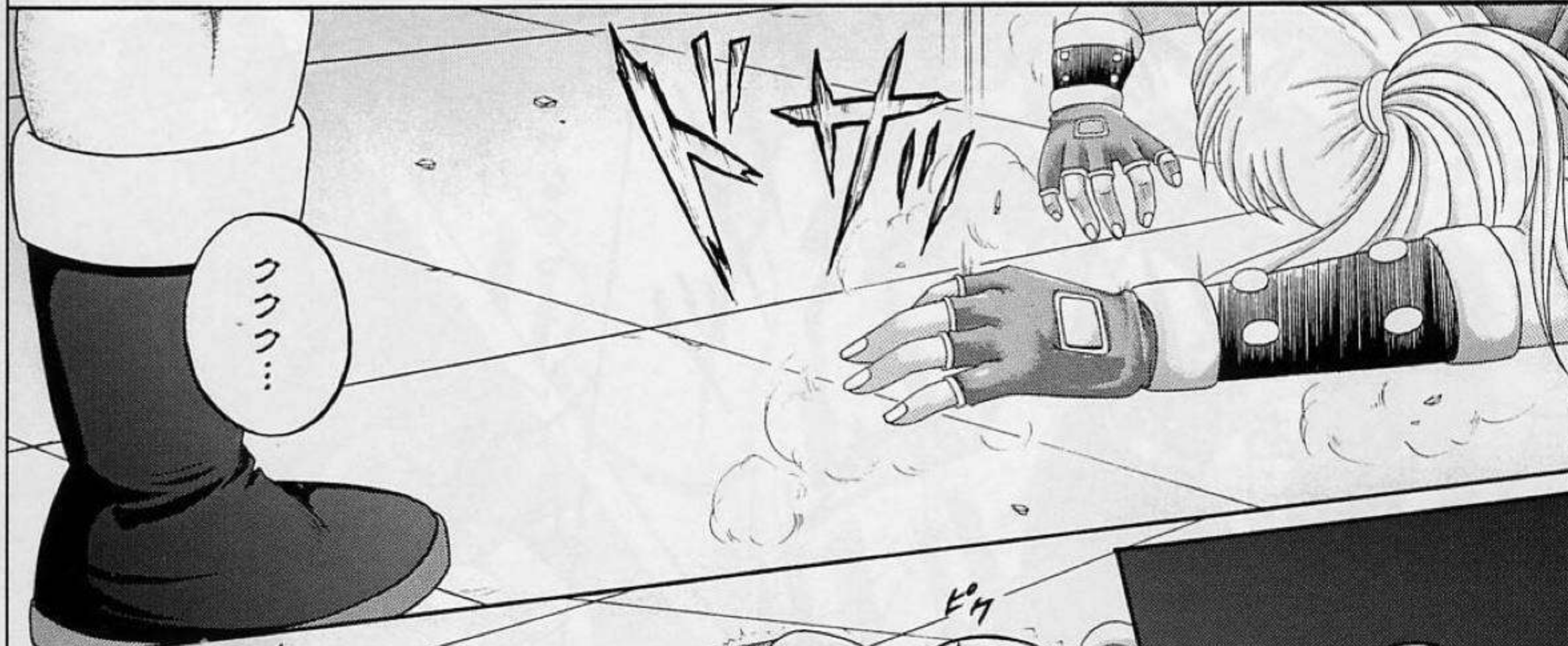
ちったあ
感謝しろよ



キルバーン様に

ガッ
ガッ

ククク...



それじゃあ……
始めるとするか

ああ……

はあ……

おじよ





はっ…

はなしてっ！

クク…

その様子だと
何をされるか
分かってるようだな

んはっ!?

うおっっ…
濡れたまま放置
しといたからか？

えらくいやらしい
臭いがたまってる
じゃねえか

やめ…っ

そんなこと
しないでえーっ

おいおい…あのへび野郎
相手に燃えてた奴が
なに嫌がってんだよ

ち…
違う…

あれは…
無理やり…

ケツ

ケツ

どうせ無理やりだから
感じたんだろう？

この
変態女めっ

イヤあっ

犯されるのが
そんなに
好きなのか？

うう…

ハハハッ…
思ったとおりだ
見てみるよ
このデカパイ

乳首ピンピンに
立たせてやる

フフ…
乳首だけじゃ
ないぞ

フキョ
あつ…
フキョ

ほれ…
下の口からもどっぶり
垂れてきやがった

グヘヘ…
スゲエなぞりや

アアアア

やる前からそんなに
濡れてやがんのか

ああ…びちよ
びちよだ

こんだけ溢れてん
なら余計な手入れ
は必要ねえ

びっ…

い…や…っ

イヤッ…

いやっ!
やめてっ!

ん——イヤイヤ
うるせえなあ

思ってもない事を
ペラペラ口に
出すもんじゃねえ

んっ!

メス臭え染み付き
パンツでも啜えて
静かに眺めてろ



そおら…
動かすぞ…

んんっ!

ニヤ

俺様のチンポで
お前の窟き
かき回してやる

へへへ…

んんっ…!

そーれ
それそれ…

んんっ

ん…う…

中で…
擦れて…

くろ〜ん

ん…ん…

す…

頭がヘンに
なつてく…



んっ...

んふ...う

オイッ!
なにオメエばかり
楽しんでやがんだよ

そうだぞ!
さっさと俺にも
犯させるコノ野郎!



んっ

ん
っ!!



んっ...!

分かったよ!



まあ...どう...
慌てんな...よっ...

んっ...!

んっ...!

一発でしたら替わる...
お前ら...それまで...
乳首でもいいじってる

んっ!

ダメツ……

んふっ……

んっ……ん

そこ……
ダメツ!

フッ
フッ
フッ

フッ
フッ
フッ

ん
ん
ん

っ
っ
っ

そこ……
弱いっ!

キッ
キッ
キッ

キッ……

このデカパイ女め……
乳首で相当感じて
やがるな

締めりが……
急にキツくなり
やがった……

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

よおおし

それじゃあ
こっちも
激しくいくぜ

グ
イ

んっ!

んんんっ!

たろっつぷり
だしまくって
やる

んっ
…ぐっ!

コッ

コッ

チュ

チュ
チュ
チュ

んんん

俺様の熱—い
精液をツ

お前の子宮が
パンパンに
なるまでなあ

んっ

ん…ん

ん…

……ん……

もう……
耐えられない……

こんな……妻いの……

気持ち……
よわわわ……

だめ……

あつ……

……イッ……

……イッ……

んんんー

っ！！

イクッ

んっ……

んっ!!!

イク!

キョッ

キョクク……

んふ……!

んっ……ん……



ぬおおおお

んぐー!

んぐぐぐ...

ん.....っ

ん.....う

ん.....

よおし：
次は俺の番だ
さっさとどけ
コノ野郎

んう

ん…う…

分かった分かった
いま引っこ抜く
から…よっ

んあっ…

クソツ…俺はもう

我慢できねえ…

フェラだフェラ！

さっさとパンツ吐き出せ

あ…

…

…

フフフ…

…っで

どうです？

この表情…

ついさっきまでアバンの
使徒だったとは思えない
変貌ぶりでしょう

もう完全に別の世界に
イッちゃってますよ

ククク…



哀れな娘だ

よりによって
こやつに目を
つけられるとはな…

END

予定よりも1ヶ月以上も延びたけど、マム本ができてひと安心です。
なんて言ってる暇もなく、レオナ本がんばらないと夏コミに間に合わない——っ。
締め切りまであと1ヶ月しかないのにー。

今回の本は、顔が一番難しかったです。
前のジャンヌも個性の強い絵柄だったけど、マムはそれ以上でした。

平均的な顔の輪郭を描くとまず似ないし、髪の毛のボリュームも少しでも間違えると違うキャラになっちゃうって感じで超一大変でした。
少しでもマムに似てるなって思ってくれたら幸いです。

夏コミでは、時間があればラングのコピー本なんて出せたらなあーなんて思っているので
サイクロン寄ってもイイぜなんて人はスペースに遊びに来てください。
三日目 東地区 ク53-b です。

冷泉

ぷひー——…マム本かんせーい♪
でも、仕上がる前から失敗点を発見しまくりで、もうすでに落ち込みモードだったりです（泣）
相変わらず進歩がないというか何というか…。

ただ一つだけ言い訳させて下さい…。
第1話をやってる最中に誰かさんが予期せぬ病気をもってこなければもう少しマシなものが
できたような気がしてならないッス…（-_-;）

あああ…億劫。
「次こそは」の精神で、レオナ本がんばりますです。

何気に次刊はサイクロン初。マソ男とマソ女が絡ませられるというノリッ。
なんとなく雰囲気は左のページでお伝えできるかなあとと思いますが……。
いやはや、こういうシチュってのも面白いっすよね。
ただガンガンやりまくるーってのじゃなくて、何かこう……ドラマがあるというか（意味不明）

と、とにかくやる気は十分、時間は不十分！
どうか新刊を夏コミに持っていけますように…（お祈り）

ではでは、今回はこれにておさらばです。

和泉

次はレオナ×ダイ本です♪
夏コミ新刊になる予定.....

姫よ、はやく
ダイをイカせな
い、この瞳を
壊すぞ!!



サイクロンPシリーズ4

DIME ALLIANCE - ダイム・アライアンス -

2002年6月23日 初版発行

【発行】 サイクロン

【著者】 冷泉 / 和泉知也

【印刷・製本】 株式会社ポプルス様

【連絡先】

乱丁・落丁の際は、お手数ですが下記サイト内の申請フォームまたはメールをご利用下さいませ

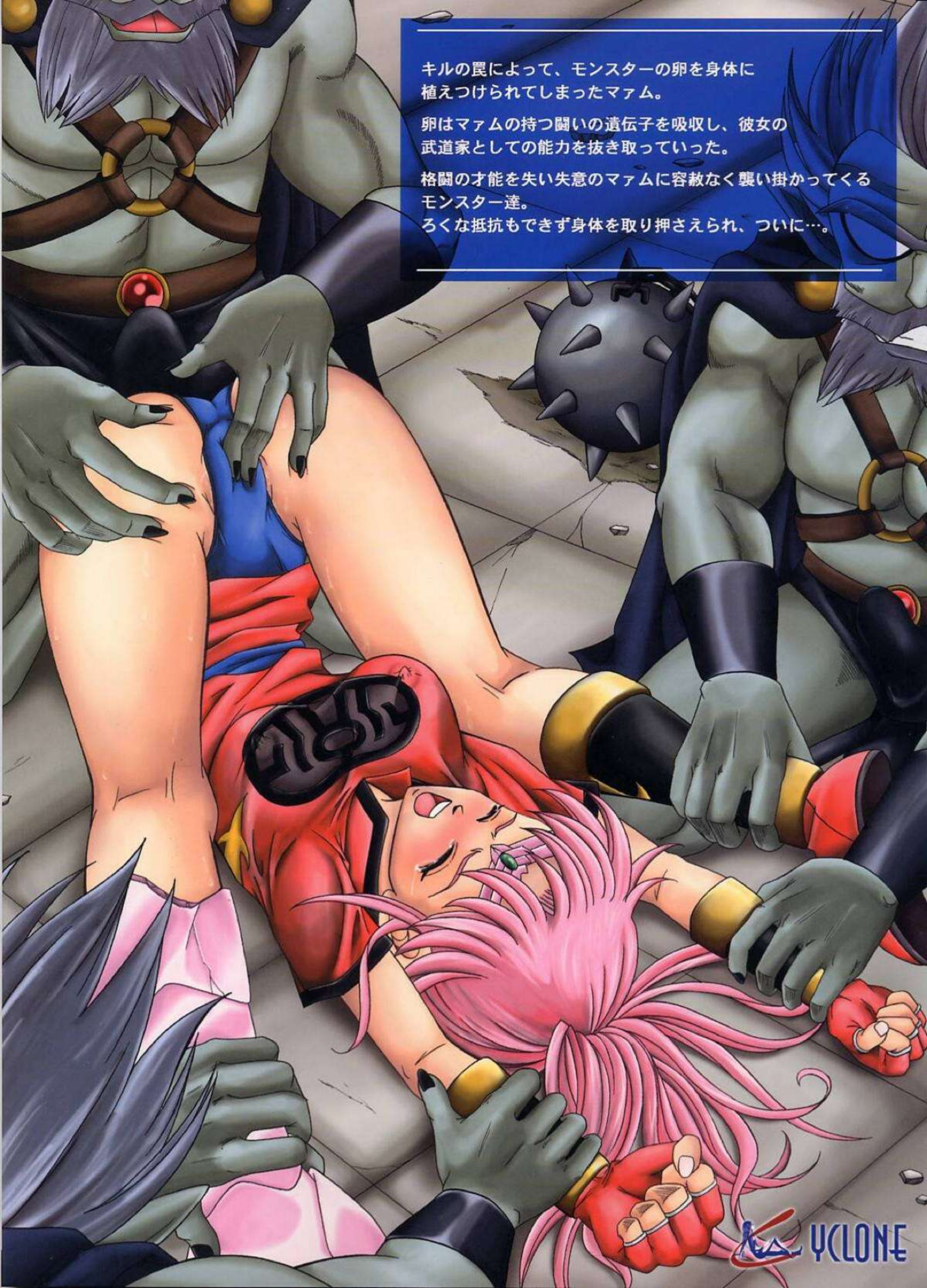
URL → <http://www.cyclone.sakura.ne.jp>

E-mail → webmaster@cyclone.sakura.ne.jp

【注意】

この本を発行した事によって発生する全ての権利は放棄されておりませんので、申し訳ありませんがそれらを侵害するUP板・転載サイトなどへのスキャン画像無断掲載や共有ファイルとしての利用行為はご遠慮下さいませ。

またそれらの行為を発見された場合は、お手数ですが上記連絡先までその旨ご一報頂ければ幸いです。



キルの罠によって、モンスターの卵を身体に
植えつけられてしまったマム。

卵はマムの持つ闘いの遺伝子を吸収し、彼女の
武道家としての能力を抜き取っていった。

格闘の才能を失い失意のマムに容赦なく襲い掛かってくる
モンスター達。

ろくな抵抗もできず身体を取り押さえられ、ついに…。